



梅田中学校だより 15

令和4年3月1日

校長 森井 康匡

梅の香り

1年間のしめくくり

今年はとても寒い日が続いたせいか、梅田中の梅の開花が遅くまだ数えるほどしか花開いていません。昨年3月1日の学校だよりを見ると、梅田の梅はほぼ満開の写真が写っていました。自然の営みは自然環境に影響を受けていることが分かります。梅中生は、梅田中学校という環境の中で、紆余曲折しながらも着実に成長を続けてきました。

梅中生にとって、梅田中学校の環境がプラスに働いていることが実感できる場面はたくさん見られました。例えば、学習に前向きに取り組む姿勢、学習発表会などでの堂々とした発表、学年や学級、部活動、委員会といった集団の中での人間関係づくり、部活動に一生懸命に努力する姿など、日常の一コマ一コマに日々の成長を感じることができています。1年間のしめくくりとして、自分自身の成長を実感したり、課題を見つけたりして、次年度への目標を設定してほしいと思います。

子どもたちが育つ環境は、学校や家庭、地域などによって日々作り出されていきます。われわれ大人たちも、一堂に会して顔を合わせることもできない昨今ですが、子どもたちを育てる視点を合わせながら、共に子どもの成長を見守っていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

学校評価アンケートの集計結果について

今年度実施した学校評価アンケートの集計結果を分析し、様々な思いを真摯に受け止めると同時に、本校の課題を来年度の学校運営の改善につなげていきたいと考えています。紙面上すべての内容を載せることはできませんので、一部を紹介いたします。

- 1 「あなたにとって学校は、安全・安心な居場所になっていますか？」
約13%の生徒が、あまりあてはまらない・あてはまらないと回答していることについて、しっかりと受け止めたい。今後は、例年実施している教育相談や相談アンケートなどを通じて、生徒の不安に寄り添い改善をしていきたい。
- 2 「先生方は、あなたのことを理解してくれていますか、または、理解しようとしてくれますか？」
肯定的な回答は88%で、一昨年度84%、昨年度82からは2年続けて上昇している。アンケート結果から教員の意識の変化によるものと捉えられるが、そう感じていない12%の生徒について、要因を探り、生徒から信頼されるよう努力していきたい。
- 3 「先生方は、いじめ防止や、いじめがあったときの対応に真剣に取り組んでいますか？」
肯定的な回答は89%で、2年続けて上昇傾向にある。この回答は1番の安全・安心な居場所とも密接に関係していると思われる。私たちは、責任を持っていじめ防止、いじめ対応に最大限努めなければならないと考える。
- 4 「先生方は、みなさんに有意義な体験ができるような場をたくさん用意してくれますか？」
86%が肯定的な回答をしている。ここ2年間は、コロナの影響で行事をはじめ様々な活動を制限してきたにもかかわらずの数値である。タイミングで学年によって実施できたこと、できなかったことなどの違いはあるが、とてもありがたい評価である。これからも、行事や特別な場だけでなく授業などにおいても、できる事を見つながら体験の場を提供していきたい。

*裏面には、アンケート全項目の集計結果を載せましたのでご覧ください。